

# 社会福祉法人 愛泉会

## 向陽園児童デイサービス ぶるぶる

住 所：山形市桜田東二丁目3番8号の5

電 話：023-615-7655

Fax：023-615-7656

Eメール：sdei-kokoro-ne@huga.ocn.ne.jp

ホームページ：<http://www.aisenkai-kovoen.com/>

### ●目的

子どもの権利を護り、放課後や休日が豊かになるような活動のできる事業所をめざし、学校通学中の障がい児に対し、日常生活動作の習得と集団生活に適應すること等ができるよう、適切な療育及び訓練等を継続的に提供します。学校・家庭と連携し、自立を促進するとともに居場所づくりを推進し、充実した地域生活が送れるように支援することを目的とします。

### ●内容

土曜日、学校の長期休み期間に活動プログラムがあります。平日は随時活動の提供を行っています。

- ・創作活動（絵描き、ぬり絵、貼り絵、ものづくり等）
- ・調理活動（昼食作り、おやつづくり等）
- ・行事 花見（4月）、遠足（年1～2回）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）、豆まき（2月）ひな祭り（3月）、他、月の誕生会等
- ・感覚遊び、リラクゼーション（スヌーズレンや感覚遊び用道具、バランスボール 等）
- ・機能訓練（散歩、野外活動、乗馬活動、自由遊び、課題、集団遊び、体育館活動、音楽活動、社会資源を利用しながらの外出 等）
- ・生活習慣（排泄、着脱衣、食事、整容等）の療育、コミュニケーションの療育（自閉症の療育）
- ・その他（児童と家族の要望に合わせた活動を提供します）

### ●スタッフ（資格及び児童分野の経験年数）

管理者 1名（保育士・5年） 児童発達支援管理責任者 1名（社会福祉士・7年）

支援員 6名（内、介護福祉士1名・3～6年）

### ●一日の流れ

#### ●平日

14：00 学校からの送迎開始  
送迎後活動  
15：00 おやつ  
15：15 活動  
17：00 帰りの送迎(送迎希望者)  
18：00 終了  
※学校の下校時間に合わせて送迎開始  
(送迎希望以外は随時家族送迎)

#### ●土曜日、学校休み時 等

9：30 送迎開始  
10：00 はじまり  
10：30 活動プログラム  
12：00 昼食  
13：30 活動プログラム  
15：00 おやつ  
16：30 帰りの送迎(送迎希望者)  
18：00 終了  
(送迎希望以外は随時家族送迎)

向陽園児童デイサービスびるびる 自己評価の公表  
(放課後等デイサービス自己評価表)

	チェック項目	改善目標、取り組み状況等
環境 ・ 体制 整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・法令に則ったスペースを確保しています
	職員の配置数は適切であるか	・法令で必要とされている職員数を配置しています
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・賃貸物件の為、玄関等のスロープや階段等バリアフリーにはなっていませんが、必要な箇所には手すり等福祉用具を取り付けています
業 務 改 善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	・一年の重点目標は職員で共有していますが、業務改善目標をさらに明確化していきたいと思 います ・業務日誌にて個々人の目標を設定し、毎月実施の振り返りを行っています
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・法人として、以前から取り組んでいます
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・今回よりホームページにて公開します
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・第三者と保護者との意見交換会を実施しています
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・研修には積極的に職員を派遣しており、会議時にその都度復命し全体で共有しています
適 切 な 支 援 の	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・相談支援事業所と連携し、本人の状況を把握すると共に、面談時に保護者との想いを聞き取り、計画に反映させています
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・同法人の「月のひかり」と統一したアセスメントシートを使用しています
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・活動は、子供たちからのリクエストも加味し、話し合いの中で計画、実施しています
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・子供の個々の状況に応じた計画を作成し、計画に沿った支援を心掛けています
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動	

提供	を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・毎日打ち合わせ時間を確保し、活動や支援内容、役割分担等の確認を行っています。また、前回利用時の状況も振り返っています
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・振り返りを行い、利用状況の確認を行っています
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・その日のうちに支援内容や本人の状況を記録しています。また、特記事項も別に入力し、情報共有に努めています
	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	・制度に則った時期にモニタリングを行い、計画見直しの要否を判断しています
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・今後さらに地域交流の機会を提供できるよう、検討していきます
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・児童発達支援管理責任者を中心に、主に支援を担当している職員とで参画しています
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・普通学校の支援学級とのやりとりが不十分な事があるので、さらにやり取りをしていきます
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	（・医療的ケアの必要な子供の受け入れは行っていません）
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	・利用前は相談支援事業所を通じて情報を共有していますが、利用開始後のやりとりはほぼありません
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	（・対象児童が主に小学生なので、非該当）
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・研修案内があった際は、参加しています
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・公園に行った際、一緒に遊ぶ機会がある程度です	

	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会から研修案内があった際は、必ず参加するようにしています</li> </ul>
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>複写式の連絡帳を用いて、お互いにいろいろな情報等を伝え合うようにしています</li> </ul>
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施していませんので、今後研修等の案内があった際は参加していくようにします</li> </ul>
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営規程の概要や支援内容、負担等必要な重要事項を記した文書にて説明し同意を得て交付しています</li> </ul>
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談時等必要に応じて対応しています</li> <li>保護者懇談会を年2回実施し、お話を伺う機会を設けています</li> </ul>
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者懇談会を年2回、保護者懇親会を年1回開催しています</li> </ul>
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情の対応後、速やかに報告書を作成し、職員間で共有するようにしています</li> <li>第三者委員周知案内を保護者に配布しています</li> </ul>
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月お便りを発行し配布していますが、内容等をさらに工夫していきたいと思えます</li> </ul>
	個人情報に十分注意しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に個人情報の取り扱いについて文書にて説明し同意を得ています</li> <li>個人情報にアクセスできるパソコンにはパスワードを設定しています</li> <li>記録は鍵のかかるキャビネットに保管しています</li> </ul>
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて構造化等を行っています</li> </ul>
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>難しい面もありますが、機関紙等を回覧するなど、理解を広めていきたいと思えます</li> </ul>
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルは策定していますが、保護者の方々への周知に関しては不十分であり、周知方法等今後の課題として検討していきます</li> </ul>
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所での訓練の他、地域の避難訓練時にも参</li> </ul>

非常時等の対応	その他必要な訓練を行っているか	加するようにしています
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 法人の行動規範をもとに、年2回自己チェックを行なっています</li> </ul>
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 身体拘束は行わない方針です</li> </ul>
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医師の指示書及び保護者からの指示にて対応しています</li> </ul>
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 報告書を作成し、職員間で共有しています</li> </ul>

# 社会福祉法人 愛泉会

## 児童デイサービス 月のひかり

住 所：山形市飯田西四丁目3番2号

電 話：023-665-5385

Fax：023-665-5387

Eメール：sp-tukinohikari@sunny.ocn.ne.jp

ホームページ：http://www.aisenkai-koyoen.com/

### ●目的

子どもの権利を護り、放課後や休日が豊かになるような活動のできる事業所をめざし、学校通学中の障がい児に対し、日常生活動作の習得と集団生活に適應すること等ができるよう、適切な療育及び訓練等を継続的に提供します。学校・家庭と連携し自立を促進するとともに、居場所づくりを推進し、充実した地域生活が送れるように支援することを目的とします。

### ●内容

土曜日、学校の長期休み期間に活動プログラムがあります。平日は随時活動の提供を行っています。

- ・創作活動（絵描き、ぬり絵、貼り絵、ものづくり等）
- ・調理活動（昼食作り、おやつづくり等）
- ・行事 花見（4月）、ハロウィン（10月）、クリスマス会（12月）、豆まき（2月）ひな祭り（3月）、他、月の誕生会等
- ・感覚遊び、リラクゼーション（スヌーズレンや感覚遊び用道具、バランスボール 等）
- ・機能訓練（散歩、野外活動、乗馬活動、自由遊び、課題、集団遊び、体育館活動、音楽活動、社会資源を利用しながらの外出 等）
- ・生活習慣（排泄、着脱衣、食事、整容等）の療育、コミュニケーションの療育（自閉症の療育）
- ・その他（児童と家族の要望に合わせた活動を提供します）

### ●スタッフ（資格及び児童分野の経験年数）

管理者 1名（社会福祉士・4年） 児童発達支援管理責任者 1名（介護福祉士・3年）

支援員 6名（内、保育士1名、介護福祉士2名・2年～8年）

### ●一日の流れ

#### ●平日

14：00 学校からの送迎開始  
送迎後活動  
15：00 おやつ  
15：15 活動  
17：00 帰りの送迎(送迎希望者)  
18：00 終了  
※学校の下校時間に合わせて送迎開始  
(送迎希望以外は随時家族送迎)

#### ●土曜日、学校休み時 等

9：30 送迎開始  
10：00 はじまり  
10：30 活動プログラム  
12：00 昼食  
13：30 活動プログラム  
15：00 おやつ  
16：30 帰りの送迎(送迎希望者)  
18：00 終了  
(送迎希望以外は随時家族の送迎)

児童デイサービス月のひかり 自己評価の公表  
 (放課後等デイサービス自己評価表)

	チェック項目	改善目標、取り組み状況等
環境 ・ 体制 整備	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	・法令に則ったスペースを確保しています
	職員の配置数は適切であるか	・法令で必要とされている職員数を配置しています
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・2階が活動スペースになっていますので、車イス対応にはなっていません
業務 改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	・一年の重点目標は職員で共有していますが、業務改善目標をさらに明確化していきたいと思 います ・業務日誌にて個々人の目標を設定し、毎月実施の振り返りを行っています
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	・法人として、以前から取り組んでいます
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	・今回よりホームページにて公開します
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	・第三者と保護者との意見交換会を実施しています
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	・研修には積極的に職員を派遣しており、会議時にその都度復命し全体で共有しています
適切 な 支 援 の	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・相談支援事業所と連携し、本人の状況を把握すると共に、面談時に保護者との想いを聞き取り、計画に反映させています
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	・同法人の「ぶるぶる」と統一したアセスメントシートを使用しています
	活動プログラムの立案をチームで行っているか	・活動は、子供たちからのリクエストも加味し、話し合いの中で計画、実施しています
	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	
	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・子供の個々の状況に応じた計画を作成し、計画に沿った支援を心掛けています
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動	

提供	を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	
	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	・毎日打ち合わせ時間を確保し、活動や支援内容、役割分担等の確認を行っています。また、前回利用時の状況も振り返っています
	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	・職員の勤務時間等の関係もあり、翌日に振り返りを行い、利用状況の確認を行っています
	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	・その日のうちに支援内容や本人の状況を記録しています。また、特記事項も別に入力し、情報共有に努めています
	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	・制度に則った時期にモニタリングを行い、計画見直しの要否を判断しています
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	・今後さらに地域交流の機会を提供できるよう、検討していきます
関係機関や保護者との連携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	・児童発達支援管理責任者を中心に、主に支援を担当している職員とで参画しています
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	・普通学校の支援学級とのやりとりが不十分な事があるので、さらにやり取りをしていきます
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	（・医療的ケアの必要な子供の受け入れは行っていません）
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	（・対象児童が主に中～高校生なので、非該当）
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	・情報の提供を求められたことはありませんが、今後求められた場合は、情報の提供を行います
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	・研修案内があった際は、参加しています
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	・公園に行った際、一緒に遊ぶ機会がある程度です	



	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会から研修案内があった際は、必ず参加するようにしています</li> </ul>
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>複写式の連絡帳を用いて、お互いにいろいろな情報等を伝え合うようにしています</li> </ul>
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施していませんので、今後研修等の案内があった際は参加していくようにします</li> </ul>
保護者への説明責任等	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営規程の概要や支援内容、負担等必要な重要事項を記した文書にて説明し同意を得て交付しています</li> </ul>
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>面談時等必要に応じて対応しています</li> <li>保護者懇談会を年2回実施し、お話を伺う機会を設けています</li> </ul>
	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者懇談会を年2回、保護者懇親会を年1回開催しています</li> </ul>
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>苦情の対応後、速やかに報告書を作成し、職員間で共有するようにしています</li> <li>第三者委員周知案内を保護者に配布しています</li> </ul>
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月お便りを発行し配布していますが、内容等をさらに工夫していきたいと思えます</li> </ul>
	個人情報に十分注意しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に個人情報の取り扱いについて文書にて説明し同意を得ています</li> <li>個人情報にアクセスできるパソコンにはパスワードを設定しています</li> <li>記録は鍵のかかるキャビネットに保管しています</li> </ul>
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて構造化等を行っています</li> </ul>
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、地域の高齢者を対象に事業所を開放し、いきいき体操の活動の場を提供していく予定です</li> <li>年数回月のひかりたよりを地域で回覧するなど、理解を広めていきたいと思えます</li> </ul>
	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアルは策定していますが、保護者の方々</li> </ul>

非常時等の対応	染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	への周知に関しては不十分であり、周知方法等今後の課題として検討していきます
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	・1階の生活介護事業所との合同訓練を行っています
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	・法人の行動規範をもとに、年2回自己チェックを行なっています
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	・身体拘束は行わない方針です
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	・医師の指示書及び保護者からの指示にて対応しています
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	・報告書を作成し、職員間で共有しています